

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 4年 5月 2日

事業所名 オールケア守口

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	必要に応じてスペースの使い方を工夫して対応している。	子どもの動きを制限しないといけない時もある場合必要に応じて適宜マットを追加し広さの確保を行っている
	2	職員の配置数は適切である	86%	14%	・人員配置基準に確保はできている ・必要な支援での人員不足にならないように研修スタッフの依頼を掛けて協力いただいている	マンパワーの強化の為、毎月シフト調整を行い、人員配置の調整を適切に行っている
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	・段差がなく車いすやバギーの移動にもスムーズにできる作りに設置している	車いすやバギーだけでなく独歩の子どもたちや床で過ごす子どもたちが行きやすい場所へ動いていけるように配慮し対応していく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	感染対策で毎日ホール内の消毒、おもちゃ等の消毒も実施	子どもの興味を抱くものに対する目線に合わせて配置を行っていく
業務 改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	100%	0%	目標に対する共有を図り個々で認識を深めていながら達成できるように取り組んでいる	目標に対する具体的な取り組みや周知を行い、振り返りの場を設けて達成するための改善策を検討していく
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	全職員が入って話し合いの場を設けている。	毎年実施し意見を踏まえて改善となる検討の実施
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	職員間で評価に対する改善内容について検討している	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	86%	14%	保護者アンケート 内部監査等	児発管がより丁寧な説明を行い、職員についてもお答えができるようにする
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	年間で研修、勉強会の計画を出して実施している	法人内、グループ内での研修や勉強会を機会を設けて実施していく
適切 な 支 援 の	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	71%	29%	生活する上で必要なアセスメントの作成は行われている	ご家族様との情報をこまめにとりアセスメントに反映すると共に職員に周知、共有を図る
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%		
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	71%	29%	季節に合わせた音楽に工夫して実施している	お子様の健康状態も考慮しながら計画の立案を立てていく	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%	多職種連携の強化を図り担当者会議、ケース会議を行っている	より具体的な内容を決めて実施していく
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	職員が充実した支援・業務ができるように事前に朝礼共有し、業務計画を行っている	朝礼にて職員一人一人の動きを明確にし、スムーズな支援に繋げていく
	18	支援開始前には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	職員が充実した支援・業務ができるように終礼で共有、振り返りを行っている	適宜、議事録や利用経過記録の書式を見直し利用児様の個々に応じた改善を行っている
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	職員が充実した支援・業務ができるように終礼で共有、振り返りを行っている	適宜、議事録や利用経過記録の書式を見直し利用児様の個々に応じた改善を行っている
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	3か月で中間モニタリングを取り入れて放課後等デイサービス目標の見直しを図っている	経過記録を元に必要と反出した場合計画の見直し、担当者会議を行っている
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	71%	29%	主に児童発達支援管理責任者が参加している	専門職や担当職員が参加していく
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	医療的ケアのお子様を受ける事業所として医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場に参加し連携を図っている	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	100%	0%		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	86%	14%	保護者からの情報で周知している	関係機関との連携を更に強化していく
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	86%	14%	就学前に小学校との連携にて学校見学の実施を行っている	支援学校との連携を密に図っていくために見学の通達があれば積極的に参加する
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%		児童発達支援が開始する為、関係機関や研修等に積極的に参加をしていく
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	57%	43%		近隣の保育園や幼稚園との交流を図る取り組みを相互で検討していく為に密に情報共有の連携は取っておく
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	57%	43%	積極的に参加し関係機関との連携や情報交換に努めている	関係機関との連携を更に深めていく
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	日々の送迎、児発管によるモニタリング等で広く意見をお聞きし、全体で検討している	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	86%	14%	面談や日々の送迎時などに相談を受けて対応している	ニーズの聞き取りを強化していく また、よりの確な支援の為、ペアレントトレーニングについての学びを深める
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	86%	14%	変更があればその都度書面にて説明を行っている	説明内容の理解を深めて変更点を丁寧に説明するよう努める	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	・送迎時や電話で相談を受け報告を上げ対応している ・必要に応じて自宅訪問にて相談対応等実施している	相談内容によっては相談支援事業にも相談し連携を図っていく
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	14%	86%		求められる交流の場を設ける事ができるように保護者と共に検討していきながら働きかける
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	86%	14%	・苦情に対する問題、原因を追究して対策を検討しその後の家族様の対応を丁寧を行う	今後も迅速に対応を行っていく
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	・毎月機関紙を作成し配布している ・又年に1度事業所情報が載っている冊子を配布している	今後も新聞や機関紙・ホームページやブログ・インスタグラムの掲載の取り組みを行い発信の強化に努めていく
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	取り扱いには十分注意を払い配慮している	今後も継続して行っていく
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	日々の申し送りを参考に子供の対応に関して共有や周知を行いまた家族様に情報伝達している	個々に応じて電話対応やタブレット端末を使用していく
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	86%	14%	・地域へのチラシを配布や掲示板の掲載 ・ユーチューブで行事宣伝を行っている	ふれあい祭りを(年に1回実施)地域との関係づくりを行っている(2021度はリモートで実施)
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	それぞれのマニュアルを見直し更新と共に作成後は周知をかける	家族様への説明・配布を行い周知するとともに活用していくように努める
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	安全委員会が主となり年に2回は必ず訓練の実施を設けている	児童発達支援事業は毎月の避難訓練実施の計画を立て実施する取り組みを強化していく
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	契約、面談時にアレルギー等の有無、対応の確認を行っている	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	・毎月の安全管理委員会は実施 ・事故、ヒヤリを共有	事故分析の共有・検討を行い、再発防止に向けた対策、取り組みの強化を図る
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	年に1度職員全体に向けた権利擁護研修を実施している	権利擁護研修、職員に関して虐待アンケートで検討を図っていく
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	個別支援計画書に記載してご家族様へ同意を頂いている	子どもの成長に応じ、適宜家族様と共有、説明を行い納得した上で同意を頂いていく。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 4年 5月 2日

事業所名 オールケア守口 保護者等数（児童数） 回収数 2 割合 70 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	50%	50%	0%	0%		
	2 職員の配置数や専門性は適切である	100%	0%	0%	0%		
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	0%	0%		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	0%	0%		
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	100%	0%	0%	0%		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	0%	0%		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	0%	0%		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	100%	0%	0%	0%		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	50%	0%	0%	50%		
適切な	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	100%	0%	0%	0%		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	100%	0%	0%	0%		
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニングiv等）が行われている	50%	50%	0%	0%		
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	100%	0%	0%	0%		
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	50%	50%	0%	0%		

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
支 援 の 提 供	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	50%	0%	50%	0%		
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	100%	0%	0%	0%		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	100%	0%	0%	0%		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	100%	0%	0%	0%		
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	100%	0%	0%	0%		
常 時 等 の 対 応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	100%	0%	0%	0%		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	50%	0%	0%	50%		
満 足 度	22	子どもは通所を楽しみにしている	100%	0%	0%	0%		
	23	事業所の支援に満足している	100%	0%	0%	0%		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 4 年 5 月 2 日

事業所名 オールケア守口

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	必要に応じてスペースの確保を行い対応している	前面土禁にしたことで活動するスペースの確保ができ、また過ごし方や活動によって安全確保を行っている
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	前もって社内で応援の協力体制を作っている	マンパワーの不足を改善していく為に部署内で定期的に研修を実施し職員の質を向上するとともによりよい環境の中で支援の提供を行う
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	段差がなく車いすやバギーの移動にもスムーズにできる作りに設置している	車いすやバギーだけでなく独歩の子供たちや床で過ごす子供たちが行きやすい場所へ動いていけるように配慮し対応している
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	100%	0%	職員間で目的が着実に行えるように計画を立てている。また振り返りを行い課題共有し改善策を検討している	継続的な改善の取り組みが行えるように目的を明確に検討し改善に努めていく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	全職員が入って話し合いの場を設けている。	意見を踏まえて丁寧に検討し改善を図る
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%	社内での内部監査を実施し評価につなげている	第三者評価は行っていないが部署間での評価を実施し業務改善ができるよう取り組んでいく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	法人内、グループ内での研修や勉強会の機会を年間で設けている	勉強会で学んできた内容の研修を部署で行い現場で実施できるよう整備していく
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	担当者、専門職と連携を図りニーズや課題の分析を行っている	モニタリングシートや課題抽出し分かりやすいようにシートを作成しケース検討を行う
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	お子様の支援を実施できる研修を行い個別の支援計画立案の基礎として活用できる取り組みを行っている	お子様の生活状況や適応行動に関しての聞き取りや行動観察を行い具体的な支援を明確化する
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	今期より保育士を中心とした活動の計画立案を立てている	担当者、専門職が集まり活動計画に対しての検討をしている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	固定化にならないように活動内容を見直し月ごとで季節に応じた行事や文化行事を取り入れている	担当者、専門職が集まり活動計画に対しての検討をしている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	多職種連携の強化を図り担当者会議、ケース会議を行っている	より具体的な内容を決めて実施していく
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	毎日、朝礼で事前に共有している	職員一人一人の動きを明確にし、スムーズな支援に繋げていく
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	毎日終礼で共有、振り返りを行っている	終礼時、支援の振り返りや課題の共有し問題解決を行う

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	日々経過記録を明確に記入して 月間記録の作成	適宜、議事録や利用経過記録の書式を見直しと定期的に記録内容の確認を行う
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	3か月で中間モニタリングを取り入れて放課後等デイサービス目標の見直しを図っている	ケース会議を適切に行う
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	100%	0%	充実した活動内容を盛り込むようにしている。	個別に合わせた日常生活の活動、自立活動の実施を更に強化していく
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	主に児童発達支援管理責任者が参加している	適宜事業所からも発信していく
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）	100%	0%	学校のホームページにて最新の情報を収集している	どのような場面においても迅速に対応できるように定期的に確認を行う
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%	0%	家族様や関係機関と連携を図り主治医指示書の共有を行っている	家族様や関係機関との連携を密に取り必要に応じた主治医との連携に努めていく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	保護者からの情報で周知している	関係機関との連携を更に強化していく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する	100%	0%	必要に応じて移行事業所との会議も行っていきます。	引継ぎを行う資料を準備しておき移行がスムーズに行えるように左記の取り組みを更に強化していく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	88%	13%		お客様の必要な情報を関係機関と密に連携を図り、また職員が積極的に研修の参加を行っていき必要な情報が共有できるようにする
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	75%	25%	年間の行事の中に施設開放で地域のお子様たちと交流を図り、また中学校の運動会の見学や小学校の児童クラブの企	交流を図る取り組みを相互で検討していく為に情報収集と連携を図る
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	75%	25%	積極的に参加し関係機関との連携や情報交換に努めている	関係機関との連携を更に深めていく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	日々の送迎、児発管によるモニタリング等で広く意見をお聞きし、全体で検討している	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	75%	25%	面談や日々の送迎時などに相談を受けて対応している	ニーズの聞き取りを強化していく また、よりの確な支援に繋げていくためにペアレントトレーニングについての学びを深めていく
保護者への説明責	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	88%	13%	変更があればその都度書面にて説明を行っている	説明内容の理解を深めて変更点を丁寧に説明するよう努める
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	88%	13%	送迎時や電話で相談を受け報告を上げ対応している ・必要に応じて自宅訪問にて相談対応等実施している	医療、福祉の知識を高め対応していく
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	50%	50%	年間の行事の中に保護者様が参加できる内容を取り入れて参加の働きかけを行っている	求められる交流の場を設ける事ができるように保護者と共に検討していきながら働きかけていく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	・苦情に対する問題、原因を追究して対策を検討しその後の家族様の対応を丁寧を行う	今後も迅速に対応を行っていく
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	・毎月機関紙を作成し配布している ・又年に1度事業所情報が載っている冊子を配布している	今後も新聞や機関紙・ホームページやブログ・インスタグラムの掲載の取り組みを工夫し発信の強化に努めていく

任 等	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	取り扱いには 十分注意を払い配慮している	今後も継続して行っていく
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通 や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	日々の申し送りを参考に子供の 対応に関して共有や周知を行 いまた家族様に情報伝達して いる	日々ご家族様と会話を行うことで必要に応じた情報の共有が図れるよう にコミュニケーションツールの幅を広げていく
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に 開かれた事業運営を図っている	100%	0%	年間の行事の中に施設開放で 地域のお子様や地域の方と交 流を図る機会を設けている	今後も地域の方を巻き込んだイベントが実施できるよう自治会の定例会 に継続的に参加し地域に根差した事業運営を行っていく
非 常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感 染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者 に周知している	100%	0%	それぞれのマニュアルを見直 し更新と共に作成後は周知を かけている	家族様への説明・配布を行い周知するとともに 活用していくように努める
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出 その他必要な訓練を行っている	100%	0%	安全委員会が主となり年に 2回は必ず訓練の実施を設けて いる	毎月の避難訓練実施では多様な有事を想定し訓練に取り 組む
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保 する等、適切な対応をしている	100%	0%	年に1度職員全体に向けた権 利擁護研修を実施している	虐待委員会を中心に定期的に見直し適切な対応を行う
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行う かについて、組織的に決定し、子どもや保護 者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放	100%	0%	組織的に見直しを行っている	お子様のの成長に応じ、適宜家族様と共有、説明を行 い納得した上で同意を頂いていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師 の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	契約、面談時にアレルギー等 の有無、対応の確認を行って いる	主治医の指示書内の項目にアレルギー対応の詳しい詳 細を追加しておく
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共 有している	100%	0%	・毎月の安全管理委員会は実 施 ・事故、ヒヤリを共有	事故分析の共有・検討を行い、再発防止に向けた対 策、取り組みの強化を図る	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公

公表：令和 4年 5月 2日

事業所名 オールケア守口 保護者等数（児童数） 回収数 9 割合 56%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	67%	22%	0%	11%		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	89%	0%	0%	11%		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%	0%	0%	0%		
適切 な 支 援 の 提 供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	89%	0%	0%	11%		
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	89%	0%	0%	11%		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0%	22%	0%	78%	コロナの為 特にしなくてもいい	
保 護 者 へ の 説 明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%	0%	0%	0%		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%	0%	0%	0%		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%	0%	0%	0%		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	22%	22%	11%	44%		
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	78%	0%	0%	22%		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	89%	0%	0%	0%		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	0%		
14 個人情報に十分注意しているか	88%	0%	0%	13%			
常 時 等 の 対	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	78%	11%	0%	11%		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	56%	22%	0%	22%		
満 足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	89%	0%	0%	11%	デイに行く事を毎回 楽しみにしています	
	18 事業所の支援に満足しているか	100%	0%	0%	0%	色々細かい事にも気が付いて下さり感謝している 接遇面が素晴らしいと思います	

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支
*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。